

平成30年度

入学試験問題

# 国語

---

※試験開始のチャイムや合図があるまで開かないこと

〔注意事項〕

1. 問題用紙は、10ページまでである。
2. 解答は、すべて別紙の解答用紙の所定欄に記入すること。
3. 解答用紙への記入は、試験開始後に記入すること。
4. 解答用紙には出身中学校・受験番号・氏名を必ず記入すること。
5. 試験開始の30分後から退場はできるが、解答用紙は必ず裏返して退場すること。
6. 問題用紙は、各自で持ち帰ること。

常磐高等学校

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。(①から⑧は、段落の番号を表します。)

①「スポーツばかりやっていると脳みそが筋肉になって使い物にならなくなる。」こんな冗談とも本気ともつかない言葉がときおり聞かれる。たしかに運動部に入ってしまったく勉強をしなければ成績は悪くなる。中学以降の勉強はとくに蓄積が必要なので、頭の素材の良さだけでは勝負できない。運動部の雰囲気によっては、勉強や試験の話をする事自体がタブーで、塾へ通っていることも秘密にしなければ人間関係を維持していけないところもある。

②世に言われる「頭の良さ」は、主に記号操作能力や言語情報処理能力に関わっている。これら<sup>①</sup>を身につけていないと、せっかくスポーツで高度な感覚や認識を得ていても、それを<sup>②</sup>的確に言語化して伝えることができない。しかし言語化ができないからといって、すぐに身体感覚や認識のレベルまでが低いと決めつけるのはあやまつている。

③たしかに長嶋茂雄のバッティング指導の場面を覗いていると「腰をこうキックとひねってブワッとまわすとバットからヒュッという高い音が出るだろ。このヒュッという高い音がいいんだ」といった類の擬音語・擬態語<sup>③</sup>だらけの指導に終始している。こうした場面をたびたび見せられると長嶋の認識能力自体を疑ってしまいがちになるが、言語による説明能力と感覚・認識能力はイコールではない。

④ここで問題にしたい頭の良さとは、学校の教科のデキではなく、どのような場におかれても自分が上達する筋道が見える力のことだ。この力は、よくわからない世界に放り出されても、仕事のやり方をまねて盗み、自分の得意技を磨いて全体の中のポジションをゲットしていく力である。こうした力は普遍的なものなので、どのようなフィールドでもこの普遍的な上達能力を身につけることは可能である。

⑤しかし、こうした上達能力自体の向上にも上達のプロセスがあるのであって、はじめからあまりに複雑な状況(フィールド)での経験は整理しにくい。はじめのうちは、諸条件が限定された状況の方が、上達のプロセスを認識し定式化しやすい。その後の複雑な現実における自分の闘い方を見つけていくための、いわば「箱庭的」な世界における上達モデルの獲得が基礎段階としてまず必要なのである。

⑥<sup>⑤</sup>スポーツは、「上達のミニチュアモデル」を獲得するには最適である。スポーツには明確なルールがあり、現実よりもはるかに条件が限定されている。たとえば、卓球を例にとれば、台の大きさやラケットの重さや形状、ワンバウンドしてから打ち返すといったルールなどはすべてゲームを面白くするための限定だ。こうした諸限定によって、必要な技が確立されやすくなる。求められる技がはっきりすれば、その技を身につけるための練習法が考案される。

⑦優れたパフォーマンスを生むためには、しっかりした技(技術)が必要であり、その技の習得のための練習を試合とは別に行うのが効率的だ。こうした「技(技術)に対する意識」や練習法の自覚を実体験を通して身につけていくことは、そのスポーツの競技力以上にその後の人生にとって重要な意味を持っている。「上達の普遍的な論理」を獲得するという点からいえば、<sup>⑥</sup>せいらいの運動能力やセンスが競技力の大半を決定してしまうスポーツよりは、練習による技術の習得が競技力を左右するスポーツの方が意義が大きい。

⑧卓球は技術の占める割合が高いスポーツだ。サッカーも技術の必要なスポーツではあるが、ズブの素人の大人の男が小学校低学年のチームに混じれば圧倒的な競技力を発揮する。しかし卓球となると、しっかり技術を身につけた子どもにも素人の大人が勝つのはむしろ難しい。卓球では体格や体力以上に技術が要求されるので、技術習得のための練習メニューに対する意識も発達している。一つ一つの技術が明確であり、その技術を持つものと持たないものとはつきりしている。たとえばバックハンドの横回転のサーブを打つ技術があるかないかは、誰にとっても明らか事実として共有できる。

(斎藤孝『できる人』はどこがちがうのか』による。一部改変)

(注) 長嶋茂雄……日本プロ野球史上最高の人気を博した元読売ジャイアンツの選手・監督。

プロセス……物事が進む過程。

定式化……一定の形式にまとめること。

箱庭……箱の中に小さな庭園をつくったもの。

パフォーマンス……成果、実績。

問一 本文中の あやまつて<sup>a</sup> せいらい<sup>b</sup> に適切な漢字を当て、楷書で書け。なお、送り仮名が必要なものは、平仮名で正しく送ること。

問二 本文中の これら<sup>①</sup> それ<sup>②</sup> が指す内容の組み合わせとして正しいものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 ①が「頭の良さ」を指し、②がスポーツを指す。
- 2 ①が「頭の良さ」を指し、②が高度な感覚や認識を指す。
- 3 ①が記号操作能力や言語情報処理能力を指し、②がスポーツを指す。
- 4 ①が記号操作能力や言語情報処理能力を指し、②が高度な感覚や認識を指す。

問三 本文中の 擬音語<sup>③</sup>・擬態語のうち、擬音語にあたるものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 バケツをひっくり返したように雨がざあざあ降った。
- 2 その男の子の目はキラキラ輝いて見えた。
- 3 勉強すれば成績はぐんぐん伸びていきますよ。
- 4 修学旅行が待ち遠しくてわくわくする。

**問四** 本文中に「普遍的な上達能力」とあるが、作者はこの能力のことを何と言い換えているか。本文中から、二十五字以上、三十字以内で抜き出して書け。

**問五** 本文中に「スポーツは「上達のミニチュアモデル」を獲得するには最適である」とあるが、作者がそう考えるのはなぜか。その理由を三十五字以上、四十字以内で書け。ただし、**ルール、限定** という二つの語句を必ず使うこと。また、使った二つの語句の右横に傍線を引くこと。

**問六** 本文の内容や論理の展開を説明した文として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 ②段落は、①段落で挙げた筆者の疑問を解決するための方策として、言語情報処理能力を身につけておくことがとりわけ重要であるという結論を導き出している。
- 2 ④段落は、③段落で述べた長嶋茂雄のバッティング指導の効果を具体的に示す中で、頭の良さが成績の良し悪しと直接結びつかない理由を丁寧に説明している。
- 3 ⑥段落は、⑤段落で示された上達のプロセスが、比較的容易に確立されやすい反面、現実には上達しにくい一面があることを指摘して、意見に説得力を持たせている。
- 4 ⑧段落は、⑦段落で触れた練習による技術の習得が競技力を左右するスポーツの一例として卓球を挙げ、サッカーと比較しながら卓球の優位性を述べている。

二

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

君子曰はく、「学は以て已むべからず。」と。青は之を藍より取りて、藍より青し。氷は水之を為して、水より寒し。木直くして繩に中たるも、撓めて以て輪と為さば、その曲なること規に中たる。槁暴有りと雖も、復た挺びざるは、撓むること之をして然らしむるなり。故に木、繩を受けば、則ち直く、金礪就けば則ち利く、君子博く学びて日に己を参省せば、則ち智明らかにして行ひに過ち無し。

〔荀子〕一部改変

(注) 已む…(途中で) やめる。

藍…青色の染料を取る植物。

木直くして繩に中たる…木がまっすぐで墨繩(材木に直線を引く道具)で引いた直線と一致する。

撓めて…力を加えて曲げて。

規…コンパスに似た曲線を示す道具。

槁暴…日にさらされて乾燥すること。

挺び…まっすぐになること。

然らしむるなり…そうさせたのである。

直く…まっすぐになること。

金礪就けば…金属が砥石に触れると。

利く…鋭くなること。

参省…何度も反省すること。

問一 本文中の「学は以て已むべからず。」という書き下し文の読み方になるように、次の漢文の適当な箇所を、返り点を付けよ。

学 不 可 以 已。

問二 本文中に「中たる」とあるが、何と何が中たるのか、最も適当なものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号を書け。

- 1 染められた布と藍の染料
- 2 冷たい水と溶ける氷
- 3 規の曲線と木
- 4 金属と砥石

問三 本文中に「受けば」とあるが、その主語を本文中からそのまま抜き出し書け。

**問四** 左の表は、本文における四つの例を整理したものの一部である。空欄 **X** に入る内容を【状態A】の書き方に合わせて、五字以上、十字以内の現代語で考えて書け。また、空欄 **Y** に入る内容を、五字以内の現代語で考えて書け。

	作 用			結 果
藍	青色染料を取る。	↓	青	藍より青くなる。【状態A】
水	水から氷ができる。	↓	氷	X
木	輪の形に曲げる。	↓	木	日にさらされて乾燥してもまっすぐにならない。
金属	砥石に触れる。	↓	金属	Y

**問五** 本文中に ④ 則ち智明らかにして行ひに過ち無し とあるが、そのような行いができる人物になるには、どのようなことをすればよいといっているか。十五字以上、二十字以内の現代語で考えて書け。

**問六** 国語の時間に朗読発表会を行うことになり、あなたはこの文章を一人で朗読することになった。本文中の「君子博く学びて日に己を参省せば、則ち智明らかにして行ひに過ち無し。」をどのように読むか。本文の展開や内容を踏まえて、朗読の仕方を、そのように読む読み方（A群）と理由（B群）から最も適当なものを次のそれぞれ **1**～**5**のうちから一つ選び、その番号を書け。

A群 1 抑揚をつけずに早口で読む。

2 抑揚をつけ歴史的仮名遣いで読む。

3 滑舌よく小さな声で読む。

4 はっきりとした強い口調で読む。

5 ゆっくりと一語一語区切って読む。

B群 1 本文はとても有名な古典だから。

2 筆者による多くの例示があるから。

3 会の全員に聞こえるから。

4 筆者が最も主張したい部分だから。

5 本文の最後の文章だから。

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

十七歳の誕生日、あたしはイツモに絶交を申し渡した<sup>①</sup>。

「頼む、イツモ。なにも聞かないで、これから一年間、あたしと絶交してくれ」

教室の椅子に正座して、机に三つ指をつけて、ぐぐぐと頭をさげた。

返事はない。やっぱ怒ってるのか？ おそろおそろ顔をあげると、イツモはほおづえをついてかったるように窓の外をながめてた。

「イツモ、人の話聞いてる？」

「聞いている」

「なんか言うことは？」

「べつに」

「なにそれ」

「千春のことだから、またなんか常人の<sup>a</sup>及びもつかないようなへんなこと、考えてるんだろうと思ってさ」

「へんなこと？」

あたしは<sup>③</sup>へりくだるのをやめて反論した。

「とんでもない、超マジな話だよ。今度こそあたし、絶対、なにがなんでも自分を変えるの。これからの人生、よりよく生きるためには、自分革命しかないんだよ」

「よりよく生きるためには、私はじゃまってわけか」

「いや、そんな単純なことでもなくって……。話せば長いけど、とにかく、自分革命のためにはイツモと絶交する必要があるわけよ、つらいけど」

「ふうん。じゃあ、絶交すれば」

「え、いいの？」

「あんたの人生がどうよくなっていくのか、とくと拝見させていただきましょう」

まんざら強がりでもなさそうに言うと、イツモは机の中から教科書を取りだし、きっちりと角をそろえて鞆につめはじめた。毎日、律儀に全教科書を持ち帰るめずらしい女子高生なのだ。ていうか、変人？

「確認しとくけど、絶交ってからは、明日から学校の行き帰りもべつべつなわけね。電話もメールもいっさいナシ。もちろん家にも遊びに行かないし、学校ですれちがっても完全無視。教科書、借りにきたって貸さないからね」

至極、事務的に念を押すイツモ。



そっか、絶交ってのは、一緒に登下校できなくなるってことなのか。電話もメールもダメなのか。イヅモのいない放課後なんて、どんなつまんだらう。教師や芸能人に対する辛口コメントを聞けなくなるのも大きな損失だ。

急激にものごなくなりながらも、あたしは決意を曲げなかった。

「うん、とりあえず一年間はイヅモなしでがんばってみるよ。それから先のこととはまた応相談ってことで」

「そんなに都合よくいかないかもよ。わたしはわたしでほかの親友、見つけちゃうかもしれないし」

「やだー、そんなさびしいこと言わないでよ」

「どっちが、よ」

（森絵都『気分上々』による。一部改変）

問一 本文中の 及<sup>a</sup>び<sup>b</sup> 損<sup>b</sup>失<sup>a</sup> の — 線を施した漢字の読みを、平仮名で書け。

問二 本文中の 渡<sup>①</sup> を楷書で書いた場合の総画数と、次の 1 ～ 4 の行書の漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、その番号を書け。

- 1 違
- 2 募
- 3 陰
- 4 詩

問三 本文中に これ<sup>②</sup>から一年間、あたしと絶交してくれ とあるが、これに対する「イヅモ」の回答として最も適当な箇所を本文中から十文字で抜き出せ。

問四 本文中に へりくだるの<sup>③</sup>をやめて反論した とあるが、この場面までなぜへりくだった態度だったのか。最も適当なものを次の 1 ～ 4 から一つ選び、その番号を書け。

- 1 「イヅモ」がたいへん怒っているの、少しでも落ち着かせるため。
- 2 突然の絶交の申し渡しに、「イヅモ」が怒ってしまふと感じたため。
- 3 感情的に話をして喧嘩になると思ひ、冷静になろうとしたため。
- 4 「イヅモ」に対して不満があったので、よそよそしく接しようとしたため。



**問五** 本文中に 決意を曲げなかった<sup>④</sup> とあるが、どのような決意か。十五字以上、二十字以内で考えて書け。

**問六** 「イヅモ」の「あたし」に対する気持ちとして、最も適当なものを次の1～4から一つ選び、その番号を書け。

- 1 絶交を申し渡されたさびしさがあつたが、「あたし」の都合のよい発言に対して、腹を立てている。
- 2 絶交を申し渡された驚きはあつたが、「あたし」がまた「へんなこと」を考えているとあきれている。
- 3 絶交を申し渡されショックを受けながらも、「あたし」の「自分革命」を心から応援しようとしている。
- 4 絶交を申し渡された強い悲しみを感じ、「あたし」以外の友人を見つけることを決意している。

#### 四

佐藤さんが通う中学校では、読書を推進する「朝読書運動」を行っている。図書委員長の田中さんは、入学する一年生に向けて、スライドを用いてプレゼンテーションをすることになった。次は、プレゼンテーションの際に使用する【スライドの一部】である。これを踏まえて、後の問に答えよ。

(注) スライド：プレゼンテーションのときに用いる画像資料。

【スライドの一部】

A

①

### 目的

多くの表現や文章  
に触れ、色々なこと  
を知ろう！

②

### スケジュール

朝礼	8:35～8:45
朝読書時間	8:45～8:55

朝礼後の10分間を使って、朝読書を行います。  
あなたの興味のある本を手にとって、他の人に迷惑  
を掛けないように静かに読みましょう。

※漫画は禁止です。

※本は大切に扱ってください。

③

例

3年生のM君

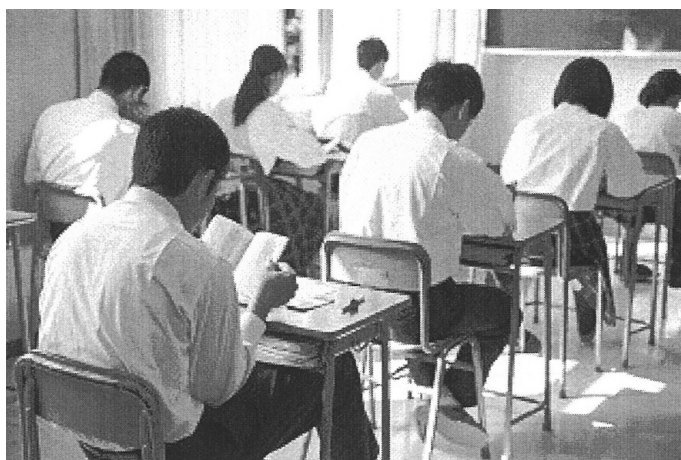
### 読書通帳

日付	通算冊数	書名	作者	ページ数		
4月15日	6冊目	空想科学読本	柳田理科雄	137	～	161
4月16日	冊目	”	”	162	～	187
4月17日	冊目	”	”	187	～	205
4月18日	7冊目	獣の奏者	上橋菜穂子	7	～	21
4月19日	冊目	”	”	21	～	46
4月20日	冊目	”	”	47	～	72

このように、毎日読書通帳へ記入をして一年間で何冊の本を読めたのか記録します。  
読んだ本が多い人は年度末に表彰を行います。

B

①



②

### 「朝の読書」で読まれたランキング

1位 「ソードアートオンライン」 川原礫

2位 「火花」 又吉直樹

3位 「空想科学読本」 柳田理科雄

4位 「カゲロウデイズ」 じん(自然の敵P)

5位 「獣の奏者」 上橋菜穂子

③

みんなでやる  
毎日やる  
好きな本でよい  
ただ読むだけ

問

田中さんは、スライドを用いてプレゼンテーションを行う中で、AかBのスライドを流したいと思っている。あなたなら、どちらのスライドを流すか、**条件1**から**条件4**に従い、作文せよ。

**条件1** 文章は、二段落構成とすること。

**条件2** 第一段落には、AとBのどちらのスライドを流すのが良いと思うか、あなたの考えを示し（どちらのスライドを選んでも構いません）、その理由を具体的に書くこと。

**条件3** 第二段落には、朝読書運動を行うことで、生徒にどのような効果が表れると思うか、あなたの意見を書くこと。

**条件4** 題名と氏名は書かず、原稿用紙（20字詰×12行≡省略）の正しい使い方に従い、十行以上、十二行以内で書くこと。

